

# 鉄斎 ぶん じん た へき — 文人多癖 —

2018年9月11日[火]—11月25日[日]

前期：9月11日(火)～10月14日(日) 後期：10月20日(土)～11月25日(日)

学芸員による展示説明会：9月22日、10月6日、27日、11月10日 各土曜日 午後1時30分より

開館時間＝午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日＝月曜日 ただし9月17日、24日、10月8日は開館、翌日休館



49 蘇子談癖図



30 鶯図

「癖」とは、特定の嗜好物に対する異常な執着、偏愛のことをいい、今日的にいうならばマニアやオタクに相当するといえよう。中国の文人たちの癖好のあり様は長く語り継がれているが、なかでも王羲之の鶯癖、陶淵明の菊癖、李白の酒癖、陸羽の茶癖は著名で、そのほか蘇東坡の談鬼癖、米芾の石癖、倪瓚の潔癖なども知られるところである。

若い頃より中国の文人世界を憧憬してやまなかった近代文人画の巨匠・富岡鉄斎（1836～1924）もまた、癖好の士であった。書癖、考証癖、茶癖、煙霞癖（旅行癖）、富士癖、東坡癖、金石癖、印癖、墨癖などは、鉄斎の人生のうえで欠くことのできない事柄である。文人精神の発露として「多癖」を誇った鉄斎のこだわりを、作品を通して見てゆくことにしたい。

**文人多癖** いわゆる「九十落款」のある最晩年の《文人多癖帖》（No.69）、試墨帖として秀逸な《墨癖余筆帖》（辰馬考古資料館蔵、『鉄斎研究』第55号-16）を筆頭に、唐代の陸羽が茶を愛好し『茶経』を著したことをいう《陸羽茶癖図》（No.65）、清代の文人で揚州八怪の一人に数えられる鄭燮（号は板橋）の「骨董」詩に取材する《好古癖図》（『鉄斎研究』第65号-22）など、鉄斎の作品・資料には「癖」を冠するものは少なくない。鉄斎の愛蔵本の一つで、中国歴代の「癖」を集大成した『癖類小史』の題辞には、明末の詩人・袁宏道が「癖を以てして其の磊傀俊逸の気を寄せる者なり。」という。一つのこと心に心を奪われ、熱狂的にのめり込むという非凡な精神に、鉄斎が学んでいたことがわかる。さらに「癖」と字義が一部重なる「痴（癡）」、あるいは「狂」にも心を寄せていた。こうした文人精神の発露としての「癖」文化に意識を傾けた人物は、おそらくわが国では鉄斎のほかにはいないだろう。

「文人は癖多し」の言葉どおり、鉄斎には自ら誇るべき癖好が数知れずあった。壮年の頃に篆刻家を志したこともあって、「余に印癖あり」といい、生涯篆刻を楽しんでいる。所用印のうち、今日まで現存する印類は380余であるが、書画作品はじめ、愛蔵本、資料類に捺された印影は600種を超える。これらの印を整理し、印譜を作成することも鉄斎の楽しみであった。79歳の時に自らのために作った《文人多癖印譜》（No.22）、自刻印のみを捺す《印癖卷》（No.39）には、印文、刻者、材質、入手経緯などが記されていて、それぞれの印に対する愛着が窺える。勿論、これらに愛蔵するだけではなく、主題や目的に応じて選りわけ、駆使していた証跡は、個別の作品に認められる。

落款に「願書万本誦万遍」印（No.98）、羅振玉刻「富岡百鍊」印（No.87）の二印を捺す《漁村暮雨図》（No.45）には、賛に「羅振玉翁は中国の老儒である。私に手紙を寄せ、そのうえ一つの印を贈ってくれた。その石は大変珍しく、印文もすぐれている。印文に「願わくは万本を書し、万遍誦せん」とある。私は嬉しくてたまらず、試みに牧谿の画法に仿ってこの図を描き、この印を捺した。」とし、嗜好を理解してくれる友からの贈りものが、本図を描く動機になったことを識している。清末民初の考証学者・羅振玉は、辛亥革命を逃れて来日し、京都に寓居していた。鉄斎は息子の富岡謙蔵を通じて親交を深め、「周無專鼎」拓本に二人が画と賛を寄せた《挿花鼎図・聯》（No.31）といった作品も遺している。

また、「余、墨筆紙癖あり。海の内外を扱はず。異製品に遇えば、必ず之れを試験す。然るに文人墨客、価を論じて品を扱はず。これ嘆ずべし。」とも鉄斎は述べている（筆録「無用之用」、1916～17年）。「墨筆紙癖」とは、中国文人の必需品文房四宝のうちの硯を除いた墨・筆・紙への執着をいうのである。松花堂昭乗ゆかりの古墨（No.99、100）を用いて描いた《松花堂幽居図》（No.12）、中国最大の画仙紙を用いたとされる《竹窓聽雨図》（No.25）、波ジャ国の古渡青黛でペルシャ猫の毛並みを表した図を収める《画猫談叢》（No.23）、識語に「鼠鬚筆を試して、この絵を描いた。」とある《蘇斜川図》（No.64）などからは、鉄斎の用具・画材に対する好奇心と徹底したこだわりが窺える。

横長の画面に、岩窟に坐す十六人の羅漢を描いた《十六羅漢画卷》（No.18）の跋には、「墨を選んで苦心、墨顔と成る」と、自らを墨狂いであるとする。本作に見られる縦横無尽に広がる雲煙のような墨の線と濃淡を適えたのは、製墨家・鈴木梅仙に



38 東坡談図 第1図



59 瓢中快適図

特製してもらった「金剛杵墨」(No.101)であった。《鉄叟画話》(No.27)には、命名の由来があり、清代の文人画家・王原祁の伝記にある「筆の穂先が金剛杵のように、煩惱の余習を脱却し尽くすところに絵画の意義がある」が出典であるという。いかに優れた用具・画材であっても、使いこなせるか否かは自身の鍛錬次第であると鉄斎は考えていたのだろう。

**好書癖** 「鉄斎の一番すきなものは書物であった」(「父・鉄斎のこと」『富岡鉄斎』、日本美術新報社、1961年)と、晩年の身辺の世話をした息謙蔵の妻とし子は回顧し、また内藤湖南は「先生の書庫には随分沢山の本がありますが、画に関係したものは殊に多くあらゆるものが、蒐められてあるようです。画に関した本でもあれだけの蔵書家は恐らく支那にもありますまい。それでその沢山の本を殆んど眼を通して読んで居られる。然かもそれをよく記憶して居られるという事は驚くの外はありません。」(「博覧強記の人」『高島屋美術画報 特別記念号』、1921年)と語っている。京都室町一条の屋敷には、鉄斎・謙蔵父子の膨大な蔵書を取りめる木造二階建ての書庫「賜楓書楼」(1911年落成)、武田五一の設計になる鉄筋三階建ての「魁星閣園」(1922年落成)がそびえ立っていて、その様子は《魁星閣園》(No.53)に描かれるところである。鉄斎の書物好きに関する逸話は枚挙にいとまがない。

生涯、読書人であり、学者(学んでいる者)であった鉄斎の作品には、読書の楽しみや重要性を説くものが多く見られる。「世間から隠退し悠々自適して、自分の天性を全うする。書物を枕に、のんびり横になっているのは安楽の境地。」との自作詩を寄せる《瓢中快適図》(No.59)には、壺中天(別天地)で自らの境遇を謳歌するさまが描かれる。灯火がともる夜学の情景を美しい墨色で詩情豊かに表した《読書立志図》(No.44)は、唐代の学者・韓退之がわが字符のために作った「符、書を城南に読むの詩」の教訓が主題になっている。また《完書船図》(No.52)には、西高蘭溪の考証随筆『慎夏漫筆』から抄出した「書物の校合をして長い夏を凌いでいるが、いつも手箱にすぐれた書物がないのを苦に病んでいた。すると物分りのよい童子が、好い話を持ってきた。「御門の前に売書船が来ております」と。」の賛がある。本屋が書物を積んで川を往来する情景が描かれ、川辺に面した書齋にいる高士が、売書船が来たのを喜んでいる。こうした主題には、書誌学に通じ、書物の校合を習癖としていた鉄斎の共感が表されている。

**東坡癖** 鉄斎の東坡癖はあまりにも有名である。若い頃より宋代の文人・蘇東坡(名は軾)の人物を深く尊敬し、詩文書画に学ぶことはもとより、自身が東坡と同じ12月19日生まれである奇縁を喜んで「東坡同日生」の印(No.94)を愛用し、忘年の友である長尾雨山に、「東坡癖」印(No.89)を刻して贈ってもらったことは知られている。さらには「私は蘇東坡の人柄を慕っている。私の書室に聚蘇書院という名を付けたのは、東坡の書物を集めているからだ。」(《前赤壁賦書》跋、清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵、『鉄斎研究』第8号-15)とあって、室号を「聚蘇書寮」、「聚蘇書院」、「蘇書寮」と称して東坡の著作や関連資料を熱心に蒐集していた。

前掲の『癖頭小史』には、数ある「癖」のうちの一つに、蘇東坡の「談鬼癖」が挙げられている。東坡は士大夫(文人官僚)であるにもかかわらず、交際範囲を選ばず、相手の高下に応じて気随気ままに談笑して、分け隔てなく付き合ったことをいう逸話である。《東坡談図》(No.38)の第11図、《蘇子談癖図》(No.49)には、客と楽しげに談笑する東坡の姿が描かれ、賛には『癖頭小史』の一文を引く。こうした東坡の癖や逸話を書物のなかから摘出し、愛着をもって鉄斎は絵画化している。多彩な逸話を収録する《東坡談図》、《画猫談叢》(No.23)などの画帖形式の作品は、輯佚書としての一面が見てとれ、鉄斎の東坡研究の発露として注目されよう。

そして蘇東坡、白幽子、円通大師らと和漢の文人・畸人にまつわる詩文、故事逸話に取材した《貽笑墨戲帖》(No.62)の跋には、「私は若い時から、篤く書画の学を好んだ。上手にはなれないが、止めることも出来ない。足を前に投げ出すというような気ままな形で坐って筆をなめて書画を揮毫し、一日たりとも止めることはなかった。」とする。

学者をもって任じた鉄斎にとって、書画の揮毫は「書画の学」であり、日々研鑽を重ねて習得した学問や知識、身につけた技術と経験こそが自らを<sup>たの</sup>嬉<sup>へき</sup>ませる第一の「癖」であったといえるだろう。(柏木知子)

[主要参考文献]

井上進「芸術の背景－明代文化の軌跡」(『世界美術全大集 東洋編 第8巻 明』小学館、1999年)、戦暁梅『鉄斎の陽明学』(勉誠出版、2004年)、八木章好「袁宏道と『癖類小史』」(『藝文研究』第98号、慶應義塾大学藝文学会、2010年)、『鉄斎研究』第73号(鉄斎美術館、2010年)、柏木知子「鉄斎－水墨神韻－」出品目録(鉄斎美術館、2012年)、板倉聖哲・実方葉子・野地耕一郎『典雅と奇想－明末清初の中国名画』(東京美術、2017年)。

## 《出品目録》

[書画]

| 番号 | 名 称          | 制作年           |              | 年 齢      | 寸 法(縦×横)                    | 材質・技法        | 員 数  |
|----|--------------|---------------|--------------|----------|-----------------------------|--------------|------|
| 1  | 層巒雨霽図        | 慶応3年          | 1867         | 32       | 125.6×39.5                  | 紙本墨画         | 1幅   |
| 2  | 隠逸畸人図        | 明治元年          | 1868         | 33       | 141.0×51.4                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 3  | 蘇公泛舟図        |               |              | 30代      | 116.9×34.0                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 4  | 鎮国山帖         | 明治11年         | 1878         | 43       | 各23.0×28.0                  | 紙本着色         | 1帖   |
| 5  | 陶淵明像         | 明治13年         | 1880         | 45       | 132.1×50.7                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 6  | 蘭亭曲水図        | 明治17年         | 1884         | 49       | 135.4×50.4                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 7  | 蕉翁乘馬図        |               |              | 50代      | 127.6×50.5                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 8  | 八大山人伝 附八大人覚文 |               |              | 50代      | 23.2×305.9                  | 紙本墨書         | 1巻   |
| 9  | 遺像在此帖        |               |              | 50代      | 各18.5×13.0                  | 紙本着色         | 1帖   |
| 10 | 富士山図         | 明治31年         | 1898         | 63       | 各153.0×352.5                | 紙本着色         | 6曲1双 |
| 11 | 勾白字詩七絶       |               |              | 60代      | 112.0×51.2                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 12 | 松花堂幽居図       |               |              | 60代      | 124.0×29.0                  | 紙本着色         | 1幅   |
| 13 | 肖照逸事巻        | 明治39年         | 1906         | 71       | 22.4×375.2                  | 紙本墨書・淡彩      | 1巻   |
| 14 | 飲中八僊図        | 明治39年         | 1906         | 71       | 148.0×53.4                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 15 | 観世音菩薩像       | 明治39年         | 1906         | 71       | 137.8×70.5                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 16 | 十年研鍊帖        | 明治40年         | 1907         | 72       | 各28.0×41.4                  | 紙本着色         | 1帖   |
| 17 | 石翁遺暹図        | 明治42年         | 1909         | 74       | 135.0×48.6                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 18 | 十六羅漢画卷       | 明治42年         | 1909         | 74       | 19.4×345.5                  | 紙本淡彩         | 1巻   |
| 19 | 梅溪清隱図        | 明治43年         | 1910         | 75       | 139.3×39.9                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 20 | 静楽帖          | 明治30年<br>大正2年 | 1897<br>1913 | 62<br>78 | 各径14.3                      | 紙本着色         | 1帖   |
| 21 | 静観楽事帖        | 大正3年          | 1914         | 79       | 各10.7×25.3                  | 紙本着色         | 1帖   |
| 22 | 文人多癖印譜       | 大正3年          | 1914         | 79       | 各26.8×15.4                  | 紙本鈐印・墨書      | 2冊   |
| 23 | 画猫談叢         | 大正3年          | 1914         | 79       | 各20.9×30.0                  | 紙本墨書・淡彩      | 1帖   |
| 24 | 豎石點頭図        |               |              | 70代      | 132.5×33.5                  | 紙本着色         | 1幅   |
| 25 | 竹窓聽雨図        |               |              | 70代      | 181.0×114.2                 | 紙本墨画         | 1幅   |
| 26 | 高遊外壳茶図       |               |              | 70代      | 132.2×42.2                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 27 | 鉄叟画話         |               |              | 70代      | 各21.4×30.5                  | 紙本淡彩・墨書      | 1帖   |
| 28 | 墨痴筆趙         |               |              | 70代      | 各22.0×32.0                  | 紙本着色・墨書      | 1帖   |
| 29 | 迂癖画談         |               |              | 70代      | 各24.5×38.8                  | 紙本墨画・墨書      | 2帖   |
| 30 | 鷺図           | 大正4年          | 1915         | 80       | 140.3×55.7                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 31 | 挿花鼎図・聯(羅振玉筆) | 大正4年          | 1915         | 80       | 135.0×68.5<br>聯 各129.0×30.0 | 紙本着色<br>紙本墨書 | 3幅対  |
| 32 | 群僊集会図        | 大正5年          | 1916         | 81       | 188.0×71.2                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 33 | 寿蘇集          | 大正5～7年        | 1916～18      |          | 各24.5×37.0                  | 紙本墨画・墨書      | 2帖   |
| 34 | 蘇子笠屐図        | 大正6年          | 1917         | 82       | 146.4×61.0                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 35 | 王元之竹樓記図      | 大正6年          | 1917         | 82       | 169.6×70.8                  | 絹本着色         | 1幅   |
| 36 | 東坡帰院図        | 大正6年          | 1917         | 82       | 132.8×32.3                  | 紙本着色         | 1幅   |
| 37 | 三老吸酢図        | 大正7年          | 1918         | 83       | 137.7×40.2                  | 紙本淡彩         | 1幅   |
| 38 | 東坡談図         | 大正7年          | 1918         | 83       | 各26.2×37.4                  | 紙本着色         | 1帖   |
| 39 | 印癖巻          | 大正8年          | 1919         | 84       | 31.1×132.4                  | 紙本鈐印・墨書      | 1巻   |

| 番号 | 名 称        | 制作年   |      | 年 齡 | 寸 法(縦×横)                    | 材質・技法        | 員 数 |
|----|------------|-------|------|-----|-----------------------------|--------------|-----|
| 40 | 盧仝喫茶図      | 大正8年  | 1919 | 84  | 42.0×50.2                   | 絹本着色         | 1面  |
| 41 | 伏魔大帝関雲長像   | 大正8年  | 1919 | 84  | 155.7×46.6                  | 絹本着色         | 1幅  |
| 42 | 朝川雪景図      | 大正8年  | 1919 | 84  | 133.6×64.4                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 43 | 懷素書蕉図      | 大正9年  | 1920 | 85  | 129.1×31.7                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 44 | 読書立志図      | 大正9年  | 1920 | 85  | 132.0×34.5                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 45 | 漁柳暮雨図      | 大正9年  | 1920 | 85  | 131.0×32.3                  | 紙本墨画         | 1幅  |
| 46 | 南極寿老星図・祝寿聯 | 大正9年  | 1920 | 85  | 132.5×52.0<br>聯 各131.3×20.9 | 紙本着色<br>絹本墨書 | 3幅対 |
| 47 | 東坡謁仏印図     | 大正9年  | 1920 | 85  | 133.0×33.6                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 48 | 盆蘭図        | 大正10年 | 1921 | 86  | 132.0×32.0                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 49 | 蘇子談癖図      | 大正10年 | 1921 | 86  | 131.8×32.1                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 50 | 儂游蓬萊図      | 大正10年 | 1921 | 86  | 50.8×63.8                   | 紙本着色         | 1幅  |
| 51 | 孫真人山居図     | 大正10年 | 1921 | 86  | 145.9×40.4                  | 紙本着色         | 1幅  |
| 52 | 売書船図       | 大正11年 | 1922 | 87  | 130.0×32.1                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 53 | 魁星閣図       | 大正11年 | 1922 | 87  | 37.9×52.4                   | 紙本墨画         | 1幅  |
| 54 | 前赤壁図       | 大正11年 | 1922 | 87  | 155.2×43.0                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 55 | 赤壁四面図      | 大正11年 | 1922 | 87  | 155.6×42.7                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 56 | 東坡閑居図      | 大正11年 | 1922 | 87  | 131.3×31.8                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 57 | 東坡閑居図      | 大正11年 | 1922 | 87  | 153.5×42.8                  | 紙本着色         | 1幅  |
| 58 | 嫦娥奔月図      | 大正12年 | 1923 | 88  | 132.6×53.6                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 59 | 瓢中快適図      | 大正12年 | 1923 | 88  | 132.2×31.8                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 60 | 雲山化城図      | 大正12年 | 1923 | 88  | 133.5×33.5                  | 紙本墨画         | 1幅  |
| 61 | 朱梅図        | 大正12年 | 1923 | 88  | 150.4×40.1                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 62 | 貽笑墨戲帖      | 大正12年 | 1923 | 88  | 各38.0×27.4                  | 紙本着色・墨書      | 1帖  |
| 63 | 梅華書屋図      | 大正13年 | 1924 | 89  | 145.6×40.1                  | 紙本着色         | 1幅  |
| 64 | 蘇斜川図       | 大正13年 | 1924 | 89  | 134.5×33.5                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 65 | 陸羽茶寮図      | 大正13年 | 1924 | 89  | 133.9×33.5                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 66 | 能因法師図      | 大正13年 | 1924 | 89  | 128.8×38.2                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 67 | 溪居読書図      | 大正13年 | 1924 | 89  | 145.1×39.1                  | 紙本淡彩         | 1幅  |
| 68 | 扶桑神境図      | 大正13年 | 1924 | 89  | 144.5×39.3                  | 紙本着色         | 1幅  |
| 69 | 文人多癖帖      | 大正13年 | 1924 | 89  | 各21.0×29.5                  | 紙本淡彩・墨書      | 1帖  |

[器 玩]

| 番号 | 名 称      | 作者                                      | 制作年   |      | 寸法(縦×横×高)   | 員 数 |
|----|----------|---|-------|------|---|-----|
| 70 | 赤壁会所用煎茶具 | 水指・菓子鉢：富岡鉄斎絵、六代高橋道八作<br>茶心壺：富岡鉄斎絵、内藤湖南書 | 大正11年 | 1922 | 水指：19.5×11.4×16.0<br>菓子鉢：径16.7×高9.0<br>茶心壺：5.2×5.2×11.5 | 1式  |
| 71 | 仿銅器式桐香炉  | 富岡鉄斎絵、中島菊齋作                             | 大正13年 | 1924 | 25.0×20.0×24.0  | 1基  |

[所用印]

| 番号 | 名 称             | 刻者ほか                     | 制作年    |      | 寸法(縦×横×高)   | 員 数 |
|----|-----------------|--------------------------|--------|------|-------------|-----|
| 72 | 「孤陋」印           |                          |        |      | 4.9×4.9×3.6 | 1顆  |
| 73 | 「山水友」印          | 尾形乾山造                    | 江戸時代   |      | 3.2×2.5×2.9 | 1顆  |
| 74 | 「売茶八十翁」印        |                          | 江戸時代   |      | 2.8×2.8×3.3 | 1顆  |
| 75 | 「葺拙」印           | 池大雅刻                     | 江戸時代中期 |      | 2.1×1.3×4.4 | 1顆  |
| 76 | 「鏡翁」印           |                          | 江戸時代後期 |      | 1.7×0.7×1.7 | 1顆  |
| 77 | 「丙子祝史己卯教官壬午遷人」印 | 山本竹雲刻                    | 明治15年頃 | 1882 | 2.6×2.6×4.5 | 1顆  |
| 78 | 「漢寿亭侯之印」印       | 加藤有年刻                    | 明治26年  | 1893 | 9.1×9.4×6.4 | 1顆  |
| 79 | 「畢久利」印          | 加藤有年刻                    | 明治26年  | 1893 | 2.0×2.0×2.0 | 1顆  |
| 80 | 「富岡百鍊」印         | 桑名鉄城刻                    | 明治28年  | 1895 | 2.3×2.3×3.6 | 1顆  |
| 81 | 「贖々翁」印          | 富岡鉄斎刻                    | 明治時代中期 |      | 2.6×1.7×2.4 | 1顆  |
| 82 | 「無量寿仏堂」印        | 桑名鉄城刻                    | 明治38年  | 1905 | 2.6×2.6×5.8 | 1顆  |
| 83 | 「賜楓書樓」印         | 桑名鉄城刻                    | 明治44年  | 1911 | 5.4×2.5×6.7 | 1顆  |
| 84 | 「做好人行好事読好書説好話」印 |                          | 明治時代後期 |      | 3.5×3.4×2.9 | 1顆  |
| 85 | 「子孫千万」印         | 桑名鉄城刻、富岡鉄斎造、<br>四代清水六兵衛焼 | 明治時代後期 |      | 径14.0×高6.8  | 1顆  |
| 86 | 「毫生仏堂主人」印       | 富岡鉄斎刻                    | 明治時代後期 |      | 5.4×5.3×6.4 | 1顆  |

| 番号 | 名 称           | 刻者ほか  | 制作年     |      | 寸法(縦×横×高)    | 員 数 |
|----|---------------|-------|---------|------|--------------|-----|
| 87 | 「富岡百鍊」印       | 羅振玉刻  | 大正3年    | 1914 | 3.0×3.0×7.6  | 1顆  |
| 88 | 「疾除永康休万寿寧」印   | 桑名鉄城刻 | 大正3年    | 1914 | 2.4×2.4×4.4  | 1顆  |
| 89 | 「東坡癖」印        | 長尾雨山刻 | 大正10年   | 1921 | 2.3×2.4×7.4  | 1顆  |
| 90 | 「鏡斎」印         | 園田湖城刻 | 大正11年   | 1922 | 1.6×0.8×3.8  | 1顆  |
| 91 | 「文人多癖」印       | 百拙刻   | 大正13年   | 1924 | 3.9×1.9×5.5  | 1顆  |
| 92 | 「千人万人中弍人半人知」印 | 清人刻   |         |      | 3.6×3.7×8.2  | 1顆  |
| 93 | 「富岡百鍊」印       | 呉昌碩刻  | 中華民國6年  | 1917 | 3.8×3.8×10.2 | 1顆  |
| 94 | 「東坡同日生」印      | 呉昌碩刻  | 中華民國6年  | 1917 | 2.6×2.7×6.7  | 1顆  |
| 95 | 「富岡百鍊」印       | 趙叔孺刻  | 中華民國11年 | 1922 | 3.0×3.0×6.5  | 1顆  |
| 96 | 「曼陀羅窟」印       | 趙叔孺刻  | 中華民國12年 | 1923 | 3.0×3.0×6.4  | 1顆  |
| 97 | 「軍司馬印」印       |       |         |      | 2.4×2.4×1.8  | 1顆  |
| 98 | 「願書万本誦万遍」印    |       |         |      | 3.4×3.4×8.8  | 1顆  |

[所用墨]

| 番号  | 名 称       | 製造者ほか        | 制作年     |             | 寸法(縦×横×厚)   | 員 数 |
|-----|-----------|--------------|---------|-------------|-------------|-----|
| 99  | 松花堂昭乘所用残墨 |              |         |             | 4.4×4.5×0.8 | 1片  |
| 100 | 牧溪墨       | 古梅園製         | 天明年間    | 1781<br>~89 | 7.7×2.6×0.9 | 1片  |
| 101 | 金剛杵墨      | 富岡鉄斎原跡、鈴木梅仙製 | 明治~大正時代 |             | 7.1×3.2×1.0 | 1挺  |

[旧蔵本]

| 番号  | 名 称         | 作者・著者ほか | 制作年     |      | 摘 要               |
|-----|-------------|---------|---------|------|-------------------|
| 102 | 君台観左右帳記 画人録 | 相阿弥著    | 室町時代    |      | 富岡鉄斎写 明治30年代      |
| 103 | 等伯画説        | 日通編     | 文祿元年頃   | 1592 | 富岡鉄斎写 明治27年(1894) |
| 104 | 絵事鄙言        | 桑山玉洲著   | 寛政11年   | 1799 | 富岡鉄斎写 明治18年(1885) |
| 105 | 蝦夷草紙        | 最上徳内著   | 江戸時代後期  |      | 富岡鉄斎写 明治1桁代       |
| 106 | 蝦夷草紙図繪      | 秦檜丸著    | 江戸時代後期  |      | 富岡鉄斎写 明治10年代      |
| 107 | 古画備考        | 朝岡興禎著   | 江戸時代後期  |      | 富岡鉄斎写 明治30年代      |
| 108 | 象図変通伝       | 松井羅洲著   | 江戸時代後期  |      | 富岡鉄斎写 明治33年(1900) |
| 109 | 指頭画説        | 高秉著     | 清時代     |      | 富岡鉄斎写 明治29年(1896) |
| 110 | 寿星図拓本       |         | 清・光緒27年 | 1901 | 紙本朱拓              |
| 111 | 曼陀羅窟書       | 呉昌碩筆    | 中華民國12年 | 1923 | 扁額                |

・No.31、62ならびに所用印（No.72～98）は鉄斎美術館寄託品。

・出品作品は期間中、下記の通り2回にわけて展示します。但し一部作品は重複することがあります。  
前期：9月11日(火)～10月14日(日) 後期：10月20日(土)～11月25日(日)

・鉄斎美術館 次回展覧会

「鉄斎の七福神」

2019年1月5日(土)～4月1日(月)

会 場：鉄斎美術館別館「史料館」 ※入館無料

・鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画展

「富岡文庫の世界－鉄斎・謙蔵父子の愛蔵本－」

2018年12月2日(日)～2019年2月7日(木)

開室時間：午前10時～午後5時

休 館 日：水曜、第2金曜、年末年始(12月29日～1月3日)

会 場：宝塚市立中央図書館聖光文庫 ※入場無料

清荒神清澄寺 鉄斎美術館

〒665-0837 兵庫県宝塚市米谷字清シー番地 Tel.0797-84-9600 Fax.0797-84-6699 <http://www.kiyoshikojin.or.jp>

平成30年8月27日 印施